

猪名川町地域公共交通ネットワーク見直し方針(案)に対する パブリックコメント及び町の考え方(案)

意見募集期間:令和2年2月10日～令和2年3月9日

意見提出者数:1人

提出意見数:1件

■猪名川町地域公共交通ネットワーク見直し方針(案)について提出された意見の概要と町の考え方

番号	意見提出者	区分	頁	章	大分類	中分類	小分類	該当箇所	意見の概要	意見に対する考え方(対応)
1	1	-	9	2	3	3	-	1	鉄道を紫合あるいは、広根まで伸ばすことを議論に入れて欲しいと思います。このあたりは、役場、移転予定の道の駅、イナホール、大型商業施設、近畿自然歩道、多田銀銅山、川西 IC、産業拠点地区など、猪名川町の中核を担う場所が多くあります。 また住民は、鉄道がないことを承知の上住んでおり、満足した暮らしを送っていると思います。 問いたいのは、このあたりに住むこどもたちが、今後猪名川町に住み続けたいと思うかどうかです。 将来テレワークが増え通勤を必要とする人は減るかもしれませんが、都市部への鉄道でのアクセスは、そこに住むか住まないかを検討する上で大きな心理的要因の1つです。 こどもたちが通学、将来の通勤に心折れ、街を離れていくことを想像すると、鉄道の発展が追いつかなかったことに悔やみを覚えそうです。	昭和 53 年 12 月に能勢電鉄日生中央駅が完成して以来、猪名川町は、日生中央駅を鉄道による広域的なアクセス及び路線バスとの結節拠点と位置づけたまちづくりを進めております。 本見直し方針においては、町と周辺市町を結ぶ骨格を形成するための広域的な交通の軸として、能勢電鉄（日生線）及び阪急バス（杉生線：清和台系統・猪名川パークタウン線・つつじが丘線）を「広域基幹交通」と位置づけ、それら「広域基幹交通」へのアクセスを充実させることを目指しております。 その取り組みの一環として、令和 2 年度から、「デマンド交通導入実証実験」を開始し、枝葉路線から幹線道路へのアクセスを充足させることで、利便性を向上させ、将来に向けた持続可能な交通網を目指す計画としております。